

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：秋桜こども園	種別：公私連携型認定こども園(保育所型)
代表者氏名：倉知 奈保子	定員（利用人数）： 29 名
所在地：岐阜県海津市平田町西島286	
TEL：0584-66-3536	ホームページ：https://shinjinsha.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成30年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 真人舎	
職員数	常勤職員： 7 名 非常勤職員 12 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長 1 名 保育教諭 6 名
	副園長 1 名 保育士 2 名
	主任 2 名 子育て支援員 3 名
	保育教諭 3 名 管理栄養士 1 名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室5 遊戯室1 職員室1 調理室 トイレ プール 医務室 AED設置

③理念・基本方針（※転載）

法人理念： 保育は人なり

教育および保育の理念と方針

- ・養護と教育が一体となった保育を提供し、子どもと保護者が安全で安心できる園を目指します。
- ・地域で子どもを育てる環境づくりに努めます。
- ・保育者は資質向上に努め、子どもたちを側面から支えます。

教育・保育目標

「生活」や「遊び」を通して様々な事を学び、生きる力を身に付けていく。

1. たくさん遊ぶ子ども
2. いきいきとした子ども

3. やさしくできる子ども
4. 考える子ども

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・令和5年度、公立園と合併し、当法人が運営していく事になり、公立園との保育の交流会を計画している。また、公立園と教材(楽器など)の貸し借りを行っている。
- ・園内行事のない時間は、子どもの時間と考え、「冒険の時間」とし、子どもたちの声を側面的に援助しながら子どもたちが遊び込めるようにし、子どもにプログラミング的思考を身につけられるよう支援し、A I 社会を生き抜くたくましさを育てている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月2日（契約日） ～ 令和5年3月31日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0 回（令和 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<意欲的に保育実践に取り組んでいる。>

教育・保育目標にある、子どもたちが「生きる力を身に付けていく」べく、経験豊富な園長の指導のもと、職員間のコミュニケーションを大切にし、保育に関わる全職員がワンチームとなり、日々の実践を振り返りつつ、意欲的に保育実践に取り組んでいる。また、フリーで動くことのできる保育士の存在により、保育にゆとりが生まれ、子ども一人ひとりに丁寧な保育が提供されている。

<「冒険の時間」を設け、子どもたちの主体性を育んでいる。>

子どもたちの創造性を養い、主体性を育てるために、「冒険の時間」を設け、子どもたちが、遊びたいものについて考えたり、話し合ったりして遊び込める時間としている。保育士は子どもたちの声やつぶやきに耳を傾けながら、子どもたちを支え、子どもたちと一緒に試行錯誤しながら遊びを行うことで、興味や遊びの発展につながる支援を行っている。

<業務のITC化を推進し、効率化を図っている。>

保育園専用業務支援システムを導入し、「コドモン」システムの機能を活用し、書類を簡素化する等、費用対効果を考えつつ、業務効率化を推進するとともに、経営体質の強化に向けた取り組みを行っている。

◇改善を求められる点

＜マニュアルのさらなる系統的な整備に期待したい。＞

各種マニュアルや支援に関わる記録物について系統的な整理や文書化について、今後の課題となっている。保育サービスの標準化やサービスの継続性の観点から、今後とも、系統的な整備に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、保育のあり方や園の運営全般について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した支援の提供に努めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。